

2011年

#### 4月2日（金曜日） あらゆる命に感謝 - 猪・鹿の供養祭 -

本日、「猪・鹿の供養祭」がNPO日本都市農村交流ネットワーク協会の皆さんの主催で、ご住職の方々、地元のおかみさん、市内猟友会の有志の皆さん中心に謹厳に執り行われ、私も皆さんとともに御供養の誠を捧げさせていただきました。

近年、様々な原因により猪や鹿はじめ奥山の鳥獣が人里に進出し、農家の方々が多大な農作物被害に悩まされています。このため、防護策の取り組みとともに、猟友会の皆さんにお願いをして鳥獣の捕獲をしていただき年々捕獲頭数も増加をしておりますが、こうした中で、供養祭を開催していただきましたことは、とても意義深いことと思います。

この供養祭、本当に尊く思いますのは、鳥獣の生き物としての命への供養の思いを深くする機会であることとともに、併せて大切なこととして、翻って農家の皆さんの農作業や生活を営もうとする懸命なご苦勞に思いを巡らせる機会でありますし、更に猟師の皆さんの捕獲に当たられる際の様々な思いにも思いを寄せて感謝を深める機会でもあると思うからであります。

そして、さらに一つ、鳥獣の命の御供養を通じて、同時に人としていただいている命についても深く思いを馳せて、人の命を支えていただいている全ての生き物、全ての人々に感謝を深くする尊い機会ともしなければならぬと思います。食事一つとっても、他の命をいただいて、生かしていただいているわけであり、感謝を深くさせていただくとともに、更に及んで、どうしたら他の命を活かさせていただくことができるかを考え模索していくことも大事だと思うのです。

昨年は、捕獲された猪、鹿を食肉としてできる限り活かさせていただきたいということで「京たんご ぼたん・もみじ比治の里」を開設し、猟友会の皆さんに運営をお願いしていますし、また、その食肉をたくさんの方々に喜んで食べていただけるようにと、ジビエのレシピ本を日本都市農村交流ネットワーク協会の皆さんに創っていただきました。今後とも、農家の皆さん、猟友会の皆さんの大変なご苦勞に思いを寄せさせていただき、深く感謝を捧げますとともに、同時に、動物の命にも尊く思いを馳せ、感謝の気持ちを忘れずにできるだけ命を活かさせていただく努力にも尽くしてまいりたいと思う。